



百人一步通信

～「一人の百歩より百人の一步」の社会を作ろう～

【発行】今井和夫とともに歩む「百人一步の会」

【代表】今井和夫(宍粟市議会議員)

〒671-3211 兵庫県宍粟市千種町岩野辺 1065

☎090-9610-2511

✉tamago@imaifarm.jp

例年のように一気に猛暑の夏がやってきました。日中も炎天下で働いておられる皆さん、本当に暑いことと思います。くれぐれも熱中症にはご注意ください。

昨年の災害から一年がたちました。復旧した所も多いですが、まだそのままの所も多いです。今から家を別の所に建て直そうとされている方もいます。本当に大変なことと思います。

今年も九州で集中豪雨が起こりました。異常気象といわれる事態が世界でも起こっています。アラスカでは7月4日に31℃を記録。インドの方では大雨で130人以上が死亡、…。ほんとに他人事ではありません。

だからこそ、お互い様で、あとの復旧にしっかりと税金を投入して安心して暮らせる社会であって欲しい。「自己責任」はつらい。国・県・市、みんなでそんな政治をつくらないと。

かみかつ 徳島県上勝町 ごみゼロ宣言の町



町内に一カ所あるゴミステーション

ある地方議員の会で視察に行ってきました。徳島県上勝町は「葉っぱビジネス」でも有名ですが、このごみゼロをめざす町としても有名です。

数々の驚きがありました。

- ① 行政によるゴミ収集がない。町内に一カ所あるゴミステーションに各自持っていく。(7時半～14時、正月以外いつでもOK) 一番遠い家で車で20分くらい。持っていけない人は、2ヶ月に一回NPOが回収に行く。(45円/10円)
- ② 生ゴミゼロ。各家に電動生ゴミ処理機等、8割補助で。飲食店など町内業者等も業務用を共同使用。
- ③ それ以外は45種類に分別。とにかく細かく分けているのでかえって出しやすい。それぞれのカゴに「処理費用」か「入ってくるお金」が書いてあり、分別意欲が湧く。
- ④ どうしても燃やさなければならぬ物は町外の焼却施設で処理。(リサイクル率80%)
- ⑤ 「くるくるショップ」・・・衣類、食器、雑貨など、まだ使えるけどいらなくなったものを集めた「無料リユースショップ」持ち込みは上勝町民限定、持ち帰りは誰でもOK。2015年度で



無料リユースの「くるくるショップ」

は年間13トンの持ち込み、11トンの持ち帰り。リユース率84%。

⑥「ちりつもポイントキャンペーン」・・・特定の指定したリサイクル品を持ち込めばポイントがもらえ、貯まると賞品と交換してくれる。

等々、人口約1500人の町なので、町民意識もまとまりやすく、細かいことができるのでしょう。

さて、宍粟市はどうでしょうか。

自治会資源物回収ステーションが市内各自治会に設置されました。それでリサイクルは進んだでしょうか？ステーションの維持管理の問題も各所で出てきているようです。まだまだ、今からスタートというところだと思います。

ガンバレ宍粟!!

各カゴに記載された処理費用



【プラスチック製容器包装】
きれいに洗ったら処理費用は
0.49円/kg

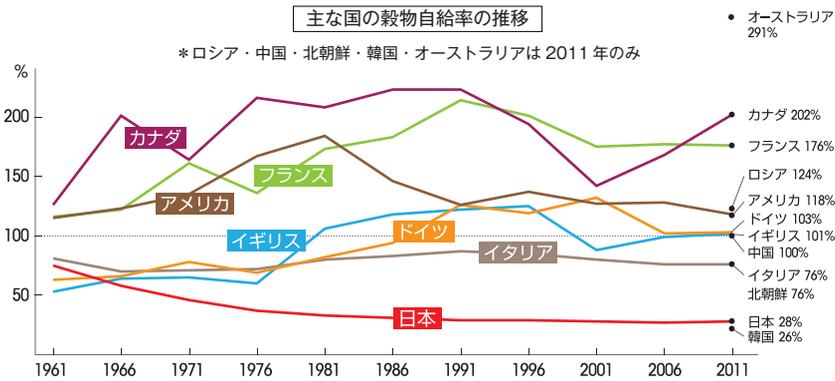
【その他のプラスチック】
汚れていれば処理費用は
42円/kg (85倍に跳ね上がる)

農業・農地を大事にしない国は人の命・暮らしも大事にしない。農地は農家だけの問題ではない。

日本の穀物自給率 28%

日本の食料自給率（カロリーベース）は38%ですが、家畜のエサも含めて一番重要になってくる穀物の自給率で見るとわずかに28%で、先進国の中では最低レベルです。

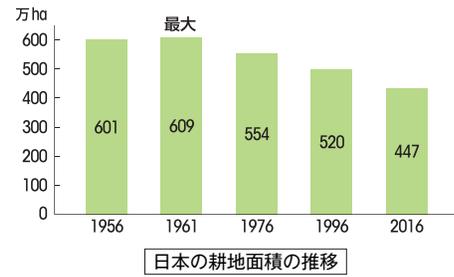
いつも言いますが、これが農村の衰退の根本原因だと思います。農村は国の食料を作る役目の所で、それが「外国からでいい」となると、もう「農村は要りません」ということです。



私たちは、いかに外国に頼っているか、日本の気候風土と合わない食生活をしているか（パンと肉食）、あるいは、いかに贅沢をしているか（日本の食品廃棄量は約2割とされています）。

何はともあれ、日本には荒らしてもいい農地は一枚もないのです。太陽光発電にまわしてもよい農地は本当は一枚もないのです。（自己責任で田んぼを作ろうと言っているのではありません）

ところが、現実には下の表のようにどんどん農地は減っていて、



今は1960年頃の3/4に。今の農政だとこの減り方は加速していくでしょう。今から一気に減っていくと思います。ほんとに日本民族の自殺行為です。

日本に今必要なのは 麦・大豆・トウモロコシ・飼料米

これらから分かるように、今、日本としてしなければならないことは、とにかく、農地を荒らさない。そして、麦・大豆・飼料作物（トウモロコシ・飼料米）を作るです。コメも含めて、これらにきちんと補助金を出し、生産を補償するような農政を作っていかなければ日本は潰れます。

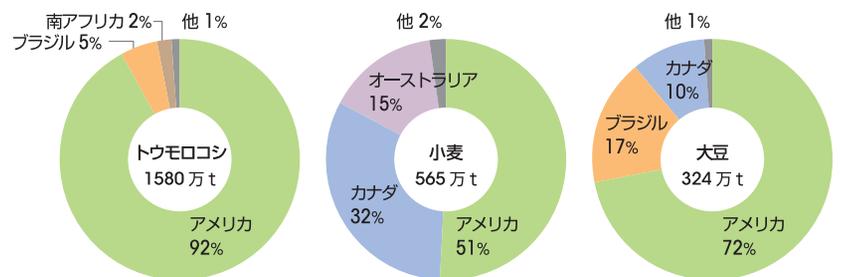
食料を全部国内で自給するならば どれくらいの農地が必要なのでしょう

日本人が今食べている食料を全部日本国内で作るとしたらどれくらいの田畑が要するのか、概算してみました。

	日本の現状（2016年）			すべて国内で作るとしたら	
	作付面積 (万ha)	生産量 (万トン)	自給率 (%)	需要量 (万トン)	必要作付面積 (万ha)
コメ	147	782	100	782	147
小麦	21	91	13	700	162
大豆	15	25	7	357	214
トウモロコシ	0	0	0	1500	160
その他	264	80	80		330
総耕地面積	447				913

小麦農作分は引く

穀物の主な輸入相手国



上の円グラフから分かるように、主にアメリカに私たちの食料は頼っているのです。アメリカは国策として多額の補助金をこれらの生産に出しています。だから、安く大量に作れるのです。つまり、私たちはアメリカ人の税金で食べさせてもらっているとも言えるのです。そこから、ひとり立ちしなければ国としての独立、そして、田舎の復活もないのではと思います。

日本でも必ずできる

皆さん、なんとか農地を荒らすまいと必死で頑張っておられます。地域を守ろうと。

でも、なかなか展望が見えてこないのが現状だと思います。今、地域でできることを頑張りながら、同時に、しっかり安定した補助金、若者が農業で生活できる制度を要求していくこと、これなしでは、農地を維持すること、地域を維持し続けることはむづかしいと思います。これは農家の問題ではありません。国民の食料確保のためです。国の主権の問題です。外国の自給率が高いのは国がすべての農地にしっかり補助金を出しているからです。

それは、日本でも必ずできることなのです。

- * 右の2列は現状から計算した数字なのであくまでも目安です。
- * 「その他」は、野菜・果樹などは約2~3割輸入していますので、自給率80%として計算しました。
- * 小麦はコメの裏作で作れるので約100万haは田んぼと併用できます。
- * 大豆は2/3は製油に使われています。トウモロコシの2/3は家畜の飼料に使われています。
- * もし飼料を自給するとなると、トウモロコシではなくコメ(飼料米)でいくとなれば、もっと面積は必要になります。飼料米の方が反収は少ないのです。（平均反収=トウモロコシ900kg、飼料米600kg）

これをグラフにすると、ナント、現状の約2倍以上の農地が必要になります。

